



時代の変化を考える

日本のペテランすし職人がアメリカで仕事をすると収入が最低二倍から三倍に跳ね上がるそうです。

わずか二十年前国内総生産（GDP）世界第二位の日本が現在では世界二十八位にまで後退し、平均年収は二十八位で韓国（十九位）、イタリア（二十二位）、スペイン（二十三位）などよりも少ないです。そんな中で国民の幸福度はというと、世界第六十二位にあると報告されています。

（World Happiness Report 2020）急激な少子高齢化を迎える中で、徐々に円の価値が下がり、国際的に競争できるようなイノベーションがあまり生まれなくなり、働き盛りの大人たちが、夢もなく内にこもり携帯ゲームにエネルギ―や時間を費やしている・・・今の日本はこんな感じでしょうか。

かつて貧困国と呼ばれていた国の人々が豊かさを求めて日本に出稼ぎに来ていました。日本でうまくやっていた多くの方は、共通して勤勉で向上心にあふれ、人柄も含め高いコミュニケーション能力をそなえていました。そして何よりもチャレンジ精神にみちあふれた人たちでした。

これから日本の若者が活躍する場は世界です。子どもたちにはどこでも通用する高いコミュニケーション能力とチャレンジ精神の涵養が何よりも大切です。日本人としてというよりもコスモポリタンの一人として生徒たちを育てていきたいと思えます。

令和四年十月吉日

敬光学院 塾長 小山勇二

手洗い・うがいを忘れずに！

10～11月の主な予定

22-Oct		22-Nov		16th	Wed	通常
17nd	Mon	1st	Tue	17th	Thu	
18nd	Tue	2nd	Wed	18th	Fri	
19nd	Wed	3rd	Thu	19th	Sat	文化の日
20nd	Thu	4th	Fri	20th	Sun	休み
21nd	Fri	5th	Sat	21st	Mon	
22nd	Sat	6th	Sun	22nd	Tue	休み
23nd	Sun	7th	Mon	23rd	Wed	勤労感謝の日
24nd	Mon	8th	Tue	24th	Thu	
25nd	Tue	9th	Wed	25th	Fri	
26nd	Wed	10th	Thu	26th	Sat	
27nd	Thu	11th	Fri	27th	Sun	
28nd	Fri	12th	Sat	28th	Mon	
29nd	Sat	13th	Sun	29th	Tue	休み
30nd	Sun	14th	Mon	30th	Wed	
31nd	Mon	15th	Tue			

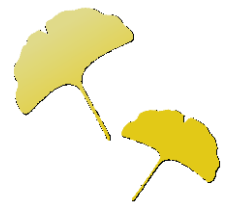
毎月の一句

『づらを見せ

おもてを見せて

散るもみぢ』

良寛



この句は良寛さんの辞世の句（死ぬ前に残す最後の句）と言われていますが、実際には良寛さんの作品ではなく、かれが晩年によく口ずさんでいた句だそうです。

良寛さんは江戸時代後期の曹洞宗の僧侶、歌人、漢詩人、書家です。彼は「子どもの純真な心こそが誠の仏の心」と解釈し、子供達と遊ぶことを好み、かくれんぼや、手毬をついたりしてよく遊んでいたそうです。（ふところには常に手まりを入れていたそうです）

後記

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが今年はいつまでも暑さが残っていますね。でも朝晩はめっきり涼しくなり、油断すると風邪をひいてしまいそうです。くれぐれもご自愛ください。

塾長

塾内通信『すばる』11月号 発行日：令和4年10月13日

放課後学習クラブ 敬光学院

受付：平日は午後3時より

☎ 06(6913)4188 info@keikou-gakuin.com

土曜は午前9時より